



平成25年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年4月5日

上場会社名 株式会社バイク王&カンパニー

上場取引所 東

コード番号 3377 URL <http://www.8190.co.jp/company/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 石川秋彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 コーポレート部門・コミュニケーション部門 管掌 (氏名) 山縣 俊

TEL 03-6803-8855

四半期報告書提出予定日 平成25年4月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年11月期第1四半期の業績(平成24年12月1日～平成25年2月28日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年11月期第1四半期	4,128	—	△449	—	△403	—	△257	—
24年11月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年11月期第1四半期	△1,864.63	—
24年11月期第1四半期	—	—

平成24年11月期第1四半期は連結業績を開示しておりましたが、平成24年11月期第2四半期より非連結での業績を開示しております。そのため平成24年11月期第1四半期の経営成績(累計)および対前年同四半期増減率については記載していません。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年11月期第1四半期	5,368	—	3,851	—	—	71.6
24年11月期	5,693	—	4,163	—	—	73.0

(参考) 自己資本 25年11月期第1四半期 3,841百万円 24年11月期 4,154百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年11月期	—	600.00	—	400.00	1,000.00
25年11月期	—	—	—	—	—
25年11月期(予想)	—	500.00	—	5.00	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年6月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式の数を100株とする単元株制度を採用します。これにともない、平成25年11月期(予想)期末の配当金については当該株式分割の影響を考慮して記載しております。

3. 平成25年11月期の業績予想(平成24年12月1日～平成25年11月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,419	△1.8	23	△76.5	91	△48.3	43	△76.7	3.12
通期	21,403	3.1	96	—	224	—	73	—	5.36

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年6月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式の数を100株とする単元株制度を採用します。これにともない、当事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期(当期)純利益金額を算定しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年11月期1Q	152,856 株	24年11月期	152,856 株
② 期末自己株式数	25年11月期1Q	15,000 株	24年11月期	15,000 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年11月期1Q	137,856 株	24年11月期1Q	137,856 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- (1) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P. 3「(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
- (2) 当社は、平成25年1月25日開催の取締役会において、株式の分割および単元株制度の採用について決議し、平成25年6月1日を効力発生日として普通株式1株を100株へ分割し、単元株式数を100株とすることとしております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報等	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(6) 重要な後発事象	7
4. 補足情報	8
生産、受注及び販売の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

また、当社は、平成24年3月1日付で連結子会社「株式会社パーク王」を吸収合併したことにともない、前第2四半期累計期間より四半期連結財務諸表を作成していないため、売上高およびその他利益の金額について、前年同期比較を行っておりません。

当第1四半期累計期間における我が国経済は、輸出環境の改善や経済対策の効果等を背景に緩やかな景気回復への期待が高まる一方、海外景気の下振れ懸念等がまだ残るなか推移いたしました。

当社が属するバイク業界におきましては、国内におけるバイク保有台数は1,220万台(平成23年3月末現在、出所：一般社団法人日本自動車工業会)といわれており全体として微減する傾向にあります。しかし、比較的市場価値の高い原付二種以上のバイクの保有台数は僅かながら増加しております。また、当社の主たる販売先(出品先)である中古バイクオークション市場においては相場が前年同期を若干下回って推移いたしました。

このような状況のもとで、当社は、「バイク王」をコアブランドとするバイク買取事業において、前年同期の結果を踏まえ、より効果的なタイミングを狙った広告宣伝活動を実施いたしました。この結果、前年同期と比べお申し込み件数は増加したものの、出張買取成約率(※)等が前年同期を若干下回ったことに加え、オークション開催日程の関係で出品台数が減少したこともあり、販売台数が減少いたしました。

また、上記のオークション相場の動向の影響等により、平均売上単価(一台当たりの売上高)ならびに平均粗利額(一台当たりの粗利額)は前年同期を若干下回りました。

以上の結果、売上高4,128,656千円、営業損失449,869千円、経常損失403,866千円、四半期純損失257,050千円となりました。

※出張買取成約率：出張査定においてバイクの査定金額をバイクユーザーに提示した際に取引成約に至る割合。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、前事業年度よりセグメント名称を変更しておりますが、セグメント情報に与える影響はありません。

<バイク買取事業>

バイク買取事業に関しては、上記のとおりです。なお、店舗数に変更はありません。

以上の結果、直営店舗数は92店舗、セグメント間消去前の売上高は3,503,210千円、経常損失は392,813千円となりました。

<バイク小売事業>

バイク小売事業に関しては、店舗における在庫車輛の展示強化に加え、WEBへの在庫車輛の掲載推進等、積極的な販売活動を実施し、既存店舗の収益力強化を図りました。

以上の結果、直営店舗数は11店舗、セグメント間消去前の売上高は1,080,087千円、経常損失は15,651千円となりました。

<駐車場事業>

駐車場事業に関しては、既存事業地の収益力向上と採算性を重視した事業地開発を推進いたしました。その結果、120車室を新規に開設するとともに、55車室を閉鎖しており、車室数は2,225車室となりました。

以上の結果、セグメント間消去前の売上高は177,658千円、経常利益は4,598千円となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末に比べて346,905千円減少し、3,207,094千円となりました。これは主に、現金及び預金が204,903千円、売掛金が166,254千円および商品が26,568千円減少したことによるものであります。固定資産は、前事業年度末に比べて21,803千円増加し、2,161,215千円となりました。これは主に、繰越欠損金の発生によりその他(繰延税金資産)が81,481千円増加したものの、減価償却等により有形固定資産および無形固定資産が57,419千円減少したことによるものであります。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて8,314千円減少し、1,187,412千円となりました。これは主に、賞与引当金21,105千円およびその他(未払消費税等)30,930千円の増加があるものの、未払金が45,948千円および未払法人税等が12,100千円減少したことによるものであります。固定負債は、前事業年度末に比べて4,444千円減少し、329,392千円となりました。これは主に、資産除去債務が1,264千円およびその他(長期未払金)が8,543千円増加したものの、その他(リース債務)が13,646千円減少したことによるものです。

(純資産)

純資産は、前事業年度末に比べて312,343千円減少し、3,851,504千円となりました。これは主に、当第1四半期累計期間における四半期純損失257,050千円および株主配当により利益剰余金が55,142千円減少したためであります。

この結果、自己資本比率は71.6%となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

第2四半期累計期間および通期の業績予想につきましては、平成25年1月11日に公表いたしました決算短信に記載の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年11月30日)	当第1四半期会計期間 (平成25年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,780,092	1,575,188
売掛金	217,646	51,391
商品	1,205,142	1,178,574
貯蔵品	18,281	19,426
その他	335,041	383,595
貸倒引当金	△2,204	△1,081
流動資産合計	3,554,000	3,207,094
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	685,730	665,823
その他(純額)	358,967	329,790
有形固定資産合計	1,044,697	995,614
無形固定資産		
	82,242	73,906
投資その他の資産		
敷金及び保証金	539,154	536,972
その他	473,317	554,721
投資その他の資産合計	1,012,471	1,091,693
固定資産合計	2,139,412	2,161,215
資産合計	5,693,412	5,368,309
負債の部		
流動負債		
買掛金	79,647	85,876
短期借入金	140,000	140,000
未払金	577,451	531,503
未払法人税等	22,200	10,100
賞与引当金	—	21,105
その他の引当金	6,782	5,126
資産除去債務	6,400	5,000
その他	363,245	388,700
流動負債合計	1,195,726	1,187,412
固定負債		
資産除去債務	225,594	226,859
その他	108,242	102,533
固定負債合計	333,837	329,392
負債合計	1,529,563	1,516,804

(単位:千円)

	前事業年度 (平成24年11月30日)	当第1四半期会計期間 (平成25年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	585,650	585,650
資本剰余金	605,272	605,272
利益剰余金	3,359,051	3,046,858
自己株式	△395,810	△395,810
株主資本合計	4,154,164	3,841,971
新株予約権	9,683	9,533
純資産合計	4,163,848	3,851,504
負債純資産合計	5,693,412	5,368,309

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年2月28日)
売上高	4,128,656
売上原価	1,973,480
売上総利益	2,155,176
販売費及び一般管理費	2,605,045
営業損失(△)	△449,869
営業外収益	
受取利息	471
クレジット手数料収入	10,786
助成金収入	23,922
その他	13,430
営業外収益合計	48,610
営業外費用	
支払利息	1,946
その他	660
営業外費用合計	2,607
経常損失(△)	△403,866
特別利益	
新株予約権戻入益	149
特別利益合計	149
特別損失	
固定資産除却損	54
減損損失	3,088
特別損失合計	3,142
税引前四半期純損失(△)	△406,858
法人税、住民税及び事業税	5,904
法人税等調整額	△155,712
法人税等合計	△149,807
四半期純損失(△)	△257,050

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

当第1四半期累計期間(自平成24年12月1日至平成25年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	バイク 買取事業	バイク 小売事業	駐車場事業	合計	調整額	四半期 損益計算書 計上額(注)
売上高						
外部顧客への売上高	2,877,256	1,073,920	177,480	4,128,656	—	4,128,656
セグメント間の内部売上 高又は振替高	625,953	6,167	178	632,299	△632,299	—
計	3,503,210	1,080,087	177,658	4,760,956	△632,299	4,128,656
セグメント利益又は損失 (△)	△392,813	△15,651	4,598	△403,866	—	△403,866

(注) 報告セグメントのセグメント利益又は損失(△)の合計金額は四半期損益計算書の経常損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「バイク買取事業」セグメントにおいて、営業活動から生ずるキャッシュ・フローが継続してマイナスとなっている、今後の改善が困難と見込まれる事業所等における事業用固定資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。当該減損損失の計上額は、当第1四半期累計期間においては、「バイク買取事業」セグメントで3,088千円であります。

当社は、前第2四半期累計期間から四半期財務諸表作成会社となったため、前第1四半期累計期間の(セグメント情報等)注記は記載しておりません。

また、前事業年度より、従来の「中古オートバイ買取事業」を「バイク買取事業」、「オートバイ小売事業」を「バイク小売事業」、「オートバイ駐車場事業」を「駐車場事業」に名称を変更しております。なお、セグメントの名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

当第1四半期累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期累計期間 (自 平成24年12月1日 至 平成25年2月28日)
バイク買取事業(千円)	2,877,256
バイク小売事業(千円)	1,073,920
駐車場事業(千円)	177,480
合計(千円)	4,128,656

(注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。

2. 当第1四半期累計期間の主な相手先別の販売実績および当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	当第1四半期累計期間 (自 平成24年12月1日 至 平成25年2月28日)		関連するセグメント名
	金額(千円)	割合(%)	
(株)ジャパンバイク オークション	1,715,084	41.5	バイク買取事業 バイク小売事業
(株)ビーディーエス	910,663	22.1	バイク買取事業 バイク小売事業

3. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

当社は、前第2四半期累計期間から四半期財務諸表作成会社となったため、前第1四半期累計期間の販売実績のセグメント、相手先別の販売実績および販売実績に対する割合は記載しておりません。